

5. 成魚の分布および体長組成

(1) 分布

底延縄および刺網による漁獲試験、標本船操業日誌および聞き取り調査を実施した。

中城湾での成魚の分布は図-5に示すように、島の周辺海域に分布し、湾中央部には分布しない。特に産卵期の3~5月には久高島の北側海域、知念の20m等深線の内側のサンゴ礁海域、勝連半島の西側海域に特に分布密度が高くなるようである。

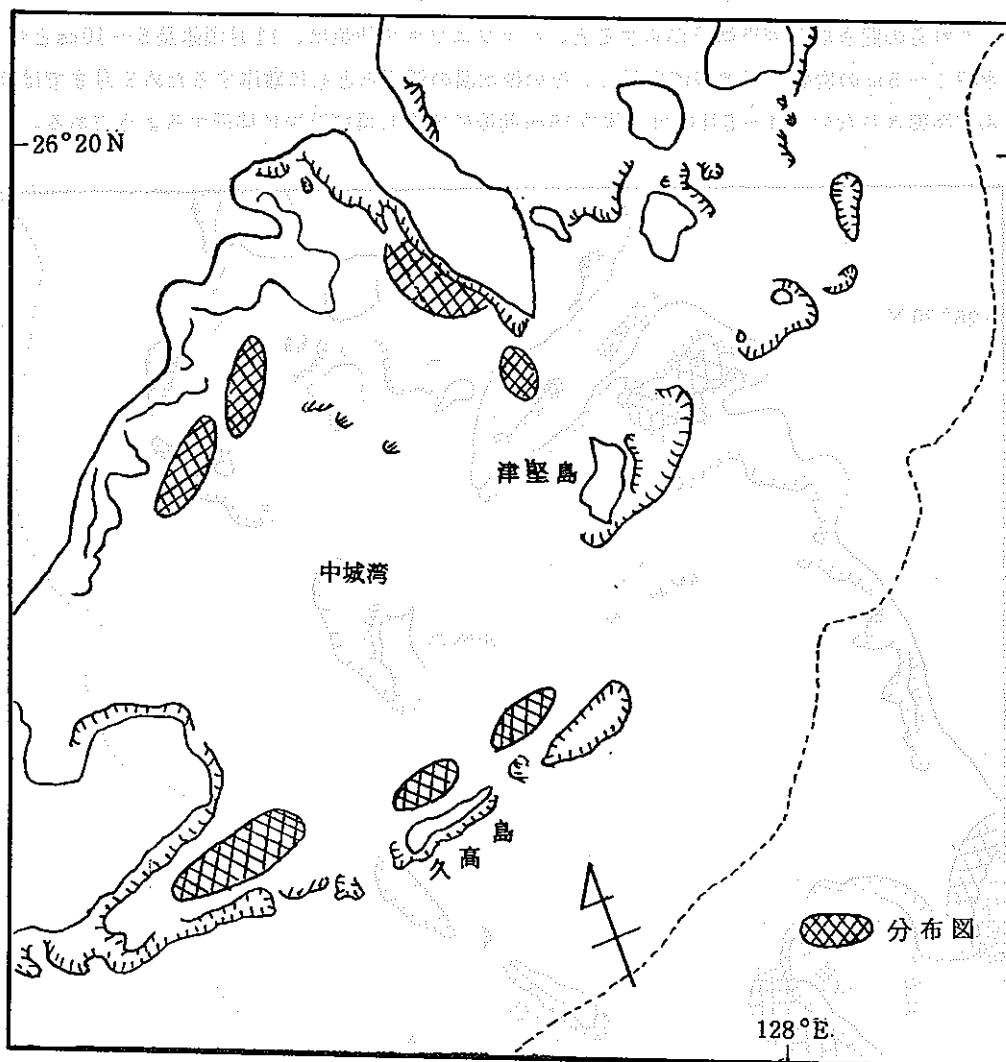


図-5 ハマフェフキ成魚の分布図

(2) 体長組成

昭和27年

毎月市場調査を行ない、体長を測定し、その体長組成からハマフエフキの成長について検討してみた。体長組成については図-6に示した。それによると、8月には体長25~65cmの範囲にあって、そのモードは30~40cmにある。9月には体長25~70cmの範囲にあってそのモードは8月と変わらず30~40cmにある。10月には25~70cmの範囲にあって、モードは同じく30~40cmにある。1月には測定数が少なくモードは明確ではないが45~50cmに認められる。3月には、体長範囲は25~65cmで、モードは45~60cmとなっている。

